

エコけん ニュース

No. 79 2006. 2

連絡先 NPO法人エコけん事務局

FAX 092-944-3012 (火~土 9:00~17:00) e-mail eco_ecoken.@ybb.ne.jp

発行責任者 清水佳香

http://www10.ocn.ne.jp/~ecoken/

1月活動報告



今年の冬は例年になく雪が多いようですね。皆さん、お元気にお過ごしでしょうか。

1月のエコけんの活動を報告します。自主活動においては、ワークショップ研修に参加したり、講演会に参加したりなど、スタッフの充電期間でもありました。学んだことを自分たちの活動に生かせるよう工夫していきたいと思えます。

エコロの森では、後期「やっちゃえMY企画」の活動が盛んに行われ、ビギボラ会と称する新規登録のボラさんへの説明会も数回行うことができました。ボランティア活動を楽しく、そして無理なく続けていけるよう、スタッフの会議にも熱が入ります。

まだまだ寒い日が続きます。皆さん、どうぞお風邪などひかれませんように。

日	自主事業	受託事業 (エコステ活動)
5		ボラ会〈廃油石けん〉
6		
7	福岡教育大第4回元気プロジェクト外参加	リメイク教室〈廃油石けん〉
8	〃	
14	ニュース9号配信	
16	定例会議	運営会議
17		ビギボラ会 ボラ会〈エコエコクッキング〉 MY企画〈ヨーヨーキルト〉
18	活動支援:With Kids	エコエコクッキング
19		ボラ会〈布〉
20		MY企画〈どんぐりトロ〉
21	環境講演会参加	創作アート教室〈トールペイント〉 かえっこ
23	古賀市広報公聴会出席	
24		エコロ講座 ボランティア交流会 教室会議 展示会議
25		MY企画〈シーグラス〉 ボランティア育成会議
26		ボラ会〈紙すき〉 館内整備 ビギボラ会
27	エコけんニュース78号発行	MY企画〈ヨーヨーキルト〉 ほっとちやっと32号発行
28	古賀市家庭ごみ資源化セミナー参加	エコロ環境教室(市民グループ)
31	北部九州福祉環境教育研究会会議出席	エコロ環境教室(学校)

この時期、エコロの森のお客さんも減ります。遊びに来てね。



MOTTAINAI 講演会に参加して

元気もらったヨロ



2月18日(土)、福岡工業大学でワンガリ・マータイさんに会ってきました(講演会に参加しました)。



▲講演会を待つ人たち

ワンガリ・マータイさんさんは、環境に対する取り組みで初めてノーベル平和賞を受賞されたケニアの環境副大臣を務められる方です。2005年、京都議定書関連行事のため来日された際、日本語の「もったいない」に感銘を受けられ、「もったいない(=MOTTAINAI)」を国際語として世界中に広めている方でもあります。

にこにこの笑顔と豊かな身振り手振りでゆっくりと話されていく様子には、長い間活動を続けてきた方らしく、熱い思いを伝える力を感じました。彼女の3本柱は、「良い統治・平和・環境」なのだそうです。

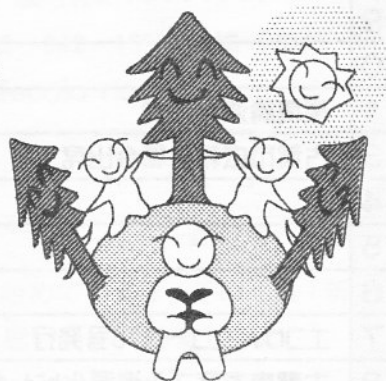
講演の最後には、プラスチックのリサイクル製品である鮮やかなデザインの風呂敷を広げ、「これが今の私のMOTTAINAIです。皆さんも皆さん自身のMOTTAINAIを探しましょう」と訴えられ、会場は拍手に包まれました。



▲講演するマータイさん

そもそも「もったいない」とは、仏教用語の「物体(勿体)」と「ない」が合わさった言葉だそうです。世の中の全ては単独で存在し得ない縁のつながりがあり、そのあらゆる縁の連鎖を尊び万物を大切にしようという思いがこめられているのだそうです。

環境のキーワードである「つながり」につながっている言葉なんだなあと思いました。



*写真は、福岡工業大学ホームページより転用させていただきました。

『拡大生産者責任(EPR)・未来への提言』

講演会に行ったよ!!

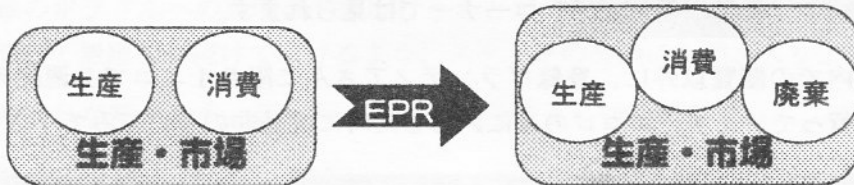
1月21日(土) 13:00~
福岡交通センタービルにて
講師 熊本一規氏
(明治大学大学院教授)

Point!

拡大生産者責任(EPR)とは「製品の製造者とその製品の廃棄についても責任を負う」という考え方です。

従来、廃棄物の管理者は地方自治体ですが、それを製造者へ移す事により、廃棄物の産出削減、有害物質の使用削減、再利用容易な製品の開発、製品価格への廃棄物管理コストの導入などが検討されるようになります。

生産・消費しか考慮しない生産・市場から廃棄まで考慮した生産・市場へ



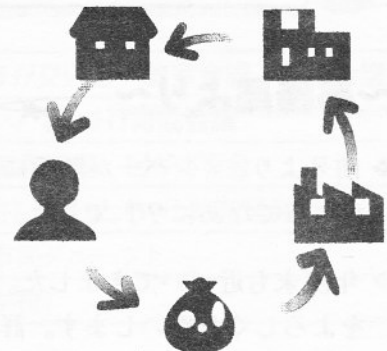
廃棄物処理の費用負担を

地方自治体から製造者・流通業者・販売業者・および個々の消費者へ



熊本教授は、「ごみ処理の有料化ではごみの減量にはつながらない。今の日本では不法投棄が不可避。分別の数の多さが必要なのではない。EPRにつなげていく分別が必要である。循環型社会の構築にEPRが必要である」と話されました。

製品製造における資源の効率的利用やごみの発生抑制はもちろん、ごみになりにくく、リユースやリサイクルが簡単な製品や廃棄される際に環境に影響が少ない製品が開発されるためにEPRは有効だと思いました。ただ、市民レベルでできることなど具体的提案がなかったことが残念です。



エコステだより

図書コーナー

再生・展示棟の2F体験コーナーの一角に、図書コーナーがあるのはご存じですか？

蔵書数はまだまだですが、普段あまり目にしない環境やごみに関する書籍を中心に揃えています。



また、難しい本以外にも、生活に役立つエコクッキングやリメイクの本・雑誌類なども毎月新刊が入ります。教室の付き添いで来られたお父さんが、待ち時間にページをめくったり、長期休みに宿題の下調べをする小・中学生の姿などが、こちらのコーナーでは見られます。

館内での閲覧以外に、登録ボランティアさんに限り1エコで2週間の貸し出しも行っています。エコロの森にいらした時には是非のぞいてみて下さい。

図書整理もボランティアさんをお願いしています。



◆◆◆◆◆ 古賀清掃工場 再生・展示棟 ◆◆◆◆◆

☎ 811-3121 古賀市筵内1970-1 ☎ 電話 092-942-1530 内線 (701)

☎ FAX 092-942-1532 ✉ メール ecosta@ecolo-no-mori.com

～事務局より～

- ❖ 前号より、メンバーが順番に記事を書くリレー記事を始めています。その1は「新エネってなあに？」でした。いろいろな視点があると思います。お楽しみに。
- ❖ 年度末も近づいてきました。エコけん会員のみなさま、どうぞ会員継続の手続きをよろしくお願ひします。詳しくは電話・メール・FAXでご連絡ください。